

いたこ
潮来市

平成20年5月発行

第129号



議会だより

平成20年第1回定例会

◎定例会概要 …… 2～3	◎議員活動報告 …… 11
◎一般通告質問 …… 4～10	◎お知らせ …… 12

発行責任者：議会議長 加藤 政司
編集者：広報編集委員会
〒311-2493
茨城県潮来市辻626
TEL 0299-63-1111
FAX 0299-80-1100

撮影：土子 孝三氏

平成 20 年第 1 回定例会

平成20年度当初予算等、全43案件を原案のとおり可決

第1回定例会は3月6日から3月21日まで開催され、当初予算、条例改正、補正予算等 43 件の議案等を審議しました。平成 20 年度当初予算9件、条例改正 26 件、補正予算6件、人事案件1件、発議1件です。提出された案件はすべて原案のとおり可決しました。

通告質問については、7人の議員が登壇し市政一般について質問しました。(傍聴者 計 26 人)

会 議 経 過

月 日	議 事 日 程	月 日	議 事 日 程
3月 6日(木)	開会・市長所信・議案説明	3月17日(月)	総務委員会(当初予算審査)
3月 7日(金)	当初予算説明		環境経済建設委員会(当初予算審査)
3月10日(月)	議事整理	3月18日(火)	教育福祉委員会(当初予算審査)
3月11日(火)	議事整理	3月19日(水)	議事整理
3月12日(水)	市政一般通告質問 4人	3月21日(金)	追加議案審議
3月13日(木)	市政一般通告質問 3人		委員会付託案件審査
3月14日(金)	議案審議・委員会付託		閉会

審 議 された 主 な 議 案

件 名	内 容
○潮来市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	市長、副市長の給料月額を減額(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 市長 549,000円(条例規定額から 235,000円減額) 副市長 578,000円(" 30,000円減額)
○潮来市教育長の給与、勤務条件に関する条例の一部改正について	教育長の給料月額を減額(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 523,000円(条例規定額から27,000円減額)
○潮来市後期高齢者医療に関する条例の制定について	後期高齢者医療制度の実施に伴い、この制度の運営にあたり、高齢者の医療の確保に関する法律及び茨城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例に定める事項のほか、市が行う事務を定めるため、制定するものです。
○潮来市基金設置条例の一部改正について	潮来クリーンセンター・潮来衛生センターの今後の改修工事等に備えるため基金を設置するものです。
○潮来市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例の全部改正について	無許可で建設残土を埋め立てする事案や農地への違法な埋め立てなどの規制強化をはかるため条例の全部を改正するものです。
○潮来ふるさと館設置及び管理に関する条例の一部改正について	潮来ふるさと館の利用率の向上を図るため施設使用料を無料とするものです。
○潮来市監査委員の選任について	議員のうちから選任する監査委員の任期満了に伴い新しい委員を議員から選任するものです。 ・監査委員 栗飯原 治雄

平成20年度当初予算可決

194億7,427万円

○一般会計 108 億 3,900 万円 ○特別会計 72 億 559 万円 ○水道会計 14 億 2,968 万円

【一般会計】

一般会計内訳		20 年度予算	前年度比	内容
歳入	地方交付金	31 億 2,800 万円	6,800 万円減	市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	国・県支出金	15 億 5,112 万円	2 億 1,800 万円増	国・県が使用目的を特定して交付するお金
	市 税	33 億 5,515 万円	1,092 万円減	市民税など市民が直接納めるお金
	借 入 金	9 億 8,530 万円	3 億 1,150 万円増	市の事業のために借り入れるお金
	そ の 他	18 億 1,943 万円	5,358 万円減	譲与税・使用料・繰入金・分担金など
歳出	人 件 費	23 億 7,798 万円	72 円万円減	職員等の給料・報酬などに使うお金
	扶 助 費	18 億 5,536 万円	2 億 3,427 万円増	生活保護など各種福祉の助成、手当てに使うお金
	物 件 費	16 億 8,200 万円	1 億 2,412 万円減	業務委託、備品・消耗品等に使うお金
	公 債 費	16 億 8,921 万円	1 億 5,172 万円増	市の借金を返済するお金（元金・利息）
	建 設 事 業 費	8 億 4,448 万円	2 億 5,805 万円増	道路や施設などの建設のために使うお金
	そ の 他	23 億 8,997 万円	1 億 2,220 万円減	補助費・繰出金・積立金など
歳入歳出合計		108 億 3,900 万円	3 億 9,700 万円増	

【特別会計・事業会計】

内 訳	20 年度予算	内 訳	20 年度予算
国民健康保険特別会計	35 億 8,490 万円	下水道事業特別会計	16 億 8,617 万円
老人保健特別会計	2 億 2,913 万円	農業集落排水特別会計	5,285 万円
介護保険特別会計	14 億 3,986 万円	水道事業会計	14 億 1,524 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 1,268 万円	工業用水道事業会計	1,444 万円

意見書を提出

道路特定財源の確保に関する意見書（要旨）

道路整備は、市民生活にとって不可欠であり、住民要望も強い。

現在、地方においては、主要な幹線道路のネットワーク形成、防災対策、通学路の整備など市民生活に欠かすことのできない道路整備を行っており、その費用も年々増大している。

こうした中、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方においては約 9 千億円の税収の減が生じ、本市でも 1 億 8 千百万円規模の減収が生じることとなり、本市の道路整備は深刻な事態に陥ることになる。さらには、危機的状況にある本市の財政運営を直撃し、教育や福祉などの行政サービスの低下など市民生活にも深刻な影響を及ぼしかねない。

よって、国においては、現行の道路特定財源の暫定税率を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう強く要望する。

平成20年3月21日

茨城県潮来市議会

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・
総務大臣・財務大臣・経済財政政策担当大臣・国土交通大臣 様

議会への陳情書

受 付	件 名	経 過
陳情 平成 19 年 12 月 7 日	安全な医療と看護・介護 の実現、地域医療拡充を はかるため、医師・看護 師等の大幅な増員を求め る陳情書 (茨城県医療労働連合会)	議員配布
陳情 平成 20 年 2 月 20 日	「鳥獣被害防止特措法」 関連予算を、鳥獣捕殺で はなく自然林復元と被害 防除に使うこと等を求める 意見書提出に関する陳情 (日本熊森協会)	議員配布

※陳情は議員配布のみとなります。

一般通告質問



橋本 きくい 議員

問 閉鎖されたあやめ園について

1年近く潮来ホテル際のあやめ園が閉鎖されており、あやめ祭りも間近になり市民は大変心配しています。市の考えは。

答 所有者と交渉を続けていく

鈴木環境経済部長

現在土地所有者との間で、賃貸借でお願いしたいということで交渉中です。所有者の理解を得られるようしっかりと交渉していきたいと思っています。

問 バイオエタノールと農業政策について

バイオエタノールの企業誘致をしたい旨要望してきましたが、今日政府の農業

政策が打ち出され、生産調整という減反に結び付けて担い手たちの心を痛めております。米価が安くなり消費者は喜ぶでしょうが、農民は機械代も払えないというところで大変な時代が来たということでは嘆いています。水郷という潮来は毎年水害があり堤防が決壊して一夜にして湖と化しました。現在の日の出の前身であります浪逆時代で感ずるところにより、減反政策に協力して8年ほど200町歩のお役にたてました。このたび再び減反政策が打ち出され、米価が安い上に減反とは踏ん張りけつたりの状態です。出島地区800町歩では、延方千拓180町歩、60町歩は出島で集めなくてはなりません。減反分の農地をバイオエタノールの企業誘致をして農民の生活を守ることに結びつけていただきたいと思います。夢のようなことですが、この企業誘致は私共だけでなく県としても将来に繋がる企画であると思います。副市長さんにも私共の考えを聞いていただきました。道の駅周辺の排水対策解決しなければならぬことがあります。企業も大事ですが農民の生活を守ることが大事であります。もう少し農民の立場にたって市長を

はじめとして考えてほしいと思います。

答 農業者とともに努力していく

副市長

現在、我が国の食糧自給率が低下し続ける中で、食品偽装表示、薬物混入など諸問題が生じています。消費者に対する食の安心・安全という重要性が再認識されているところです。そうした中で、安心・安全を根幹で支えている国内の農業を取り巻く環境は大変厳しいものがあると認識しております。本市においても、農家の方々の経営安定に向けて、買ってもらえる米づくり推進事業、潮来産コシヒカリの都市部をターゲットとした販売促進、PR活動を引き続き推進するとともに、観光客をターゲットとした、市内の飲食店、ホテル等で地産地消を目指して使ってもらおうという取り組みも推進したいと考えております。

さらに、農業と商工業、観光などの産業間での連携を強化することで、付加価値のある潮来ブランドとしての新商品、新サービスの提供を図れるよう体制整備を図っていきたいと考えております。また、エタノール作物についても、現在各地で実証実験等行われており、その結果を踏まえて、今後バイオエタノールが農業者のための救世主となるかを検証し、今後検討を進めさせていただこうかと考えております。

私も企業誘致という命題がございしますが、潮来の基幹産業は農業ですので、潮来の農業者の方々が精一杯いいものをつくっていただき、それを売り込んでいきたいということに、私どもも一緒に頑張って努力していかなければならないと思っております。

問 水郷有料道路の無料化について

昨年市長、市会議員などで知事に要望にうかがいましたが、無料化は平成23年半ばごろになるということでした。早期無料化には10億ぐらいは地元で負担が必要との事です。日の出住民の多くは神栖方面で働いています。各市や企業等での応分の負担はできないものか。

答 粘り強く要望していく

窪谷企画財政課長

水郷有料道路の無料化につきましては、議会を始め多くの市民の皆様からご指摘をいただいております。知事

や県議会へ幾度となく要望を重ねていただいております。昨年の要望の際にも、知事からは未償還金が約25億円残っており、早期無料化のために地元の応分の負担はできないかという提案も出されています。地元負担については、現在の市の財政状況からは、生活に直結した事業を優先せざるを得ず、また、今日の経済状況の中で各企業への負担を求めることも難しいものと考えています。知事からの提案については、今後の検討課題とさせていただきます。今後は、要望等粘り強く行うなど対応していききたいと考えております。

要望 是非私共と話し合いの場をもつていただきたいと思います。

是非私共と話し合いの場をもつていただきたいと思います。



水郷有料道路無料化知事要望

一 般 通 告 質 問



原 浩道 議員

問
あやめ園の私有地に
ついて

潮来ホテル前のあやめ園に、私有地立入禁止の看板がありますが、6月のあやめ祭りを前に市としてどのような対応をするのかお伺いします。

答
現状の中で創意工夫
していく

鈴木環境経済部長

園内に看板が立てられたのを確認したのが平成19年8月10日です。相手側の買収要求と、市としてのこれまでどおりの賃貸借でお願いしたいという話し合いのままできております。今後の対応としてはあやめ祭りのときにはその土地を除いた

範囲内でのあやめ園を見せるような対応をさせていただけだと思います。

再質問

土地は農地と思われるので市が買うことはできませんが、開発公社を通してできるのではないかと。

あやめ園の借地面積はどれくらいか。借地料は米7俵分と聞いたが金額にして幾らになるのか。

鈴木環境経済部長

一貫して賃貸借でお願いしたいという平行線のままで、買収ということでは進んでいません。あやめ園に關してはすべて同じような金額で賃貸借をしているということとです。買収は、その価格について当然市民からの支持を得られるものなければならぬと思っております。前川あやめ園の面積は、1万2597平米で、浅間下が8142平米です。

1俵当たりの単価については、あやめ園の開設当時の環境の中での単価であり

ます。金額的にはこれだけの地権者と面積がありますので差し控えさせていただきます。

要望

この土地の問題については、いずれ何らかの市長の政治決断がなければ、ずっとあのまま放置することになってしまいます。どうぞいい時期に政治決断をして解決の方向に進むことを望みます。



早急な解決を

問
市役所の組織のあり
方と仕事の見直しに
ついて

一般行政職員全体の人数と、管理職の割合を伺う。

答
民間委託は推進して
いく

矢幡行財政改革推進室長

現在、総職員数280名、管理職は51名で18.2%です。新規職員の採用計画は平成20年4人、21年4人、22年4人となっており、民間委託については指定管理者制度により7施設を委託しております。新しい民間委託については更なる職員減の状況や施設の効率的な運用について検証してまいります。現在民間に委託してい

る業務については、業務内容の検証をさせていただきながら進めます。民間委託については推進していく考えであります。

小さくても優れた市役所にするためには、潮来市は県内32市の中でも人口、職員数とも文字通り一番小さな市であり、財政状況も極めて厳しい状況の中で、組織のスリム化、職員の意識改革、目標による管理を含めた人事評価制度の導入等を進めて参ります。

要望

業務委託をした分仕事はなくなつたからその職員がやめるわけではない。安易に業務委託をするとかえって負担になる場合もあります。職員の削減については、評価制度、組織の改革、内部の改革に先に力を入れて、その後に職員減を考えていただきたいと思います。

その他の質問

◎義務教育についての朝食と学校生活の関係について

一般通告質問



柚木 巖 議員

問
女性専門外来を鹿行地域へ

女性を取り巻く環境が多様化し急速に変化する現在、女性特有の病気に對する医療相談・診療体制の充実が求められています。
①県内で女性専門外来を設置している病院の実態を伺う。
②女性専門外来を鹿行地域の病院に創設する将来展望を伺う。

答
身近な問題から推進したい

久保木市民福祉部長
①土浦市の国立霞ヶ浦医療センターと牛久市のつくばセントラル病院の2ヶ所です。

②本市は入院病床が皆無と

なった現状を考えると、先ず夜間の小児科病院、また産婦人科病院の確保を優先に検討して参りたい。

問
学童クラブの保育料軽減と対象者拡大を

①現状の7千円から他市なみの4千円に出来ないか。
②学童クラブの対象を小学6年生までに拡大出来ないか。

答
放課後子ども教室と連携

石田社会福祉課長
①学童クラブは昼間労働等によって保護者のいない家庭の児童を預かるもので、全てのお子さんを対象にした制度ではありません。保育料の設定は受益者負担を基本とし、現状は保護者負担が6割、市と国庫補助が4割となつています。保育料の高低は学童保育の満足度の問題であり、今後とも質を高めていきたいと思っています。
②小学生は低学年と高学年では育成過程が異なる為、1つの教室では難しい面があります。20年度は平日5日間は学童クラ

ブ、月1回は6年生までを対象とした放課後子ども教室と連携して取り組んでいきます。日の出小については希望者が多いので教育委員会に教室の確保の要請、福祉サイドでは指導員の拡充を図りながら連携した体制づくりに努めてまいります。

問
子育て優待カードの拡充を

昨年10月から優待カードによる子育て支援が始まりましたが、協賛加盟店を拡充する為にどのようなたらきかけをするのか伺う。

答
協賛企業の拡大に努める

石田社会福祉課長
広報いたこ等にて周知啓発を図ってきました。今後

もより多くの企業・店舗が賛同いただけるよう商工会と十分に連携し拡大に取り組みたい。

問
セーフティネット貸付・保証制度の支援状況は

①利用するには市町村の認定が必要ですが、認定条件と本市での認定実績を伺う。
②本市の中小企業支援対策を伺う。

答
中小企業の健全経営に支援

鈴木環境経済部長
①業況の悪化している業種に属し、売り上げが減少している場合で、本市で15件。金融機関の経営合理化により借入れが減少している場合で本市では3件認定した。
②自治金融制度による市内の中小企業の発展に寄与することを目的に、事業経営に要する運転資金、設備投資について支援しています。自治金融制度では運転資金5百万円。設備資金1千万円まで。振興金融制度では前者の倍の金額を限度としています。

問
パーキングパーミット制度の導入を

今や身障者駐車スペースは、市内の公共施設は勿論、ショッピングセンターや病院、ホテルなどさまざまな場所で開催されている。パーキングパーミット制度とは、身体障害者用駐車場利用証を市内又は広域で交付することにより、駐車場利用者を明らかにし、駐車スペースを確保するものです。この制度は歩行が困難な方として身体に障害の方、足を怪我した人なども対象としています。この制度の導入について市長の所見を伺う。

答
前向きに検討する

柏田市長
制度の導入については前向きに検討させていただき



その他の主な質問
◎5歳児健診の早期導入を！
◎公立幼稚園の3年保育の実現を！

一般通告質問



大平 幸一 議員

問 前川排水機場について

① 2月に工事が発注されたそうだが内容について伺う。

② 今回、工事開始が延期され工事日程の変更計画書はどうなっているか。

③ 吐出口部の観光スポット的な考えはあるか。

答 工事費9億1035万円

窪谷企画財政課長

① 工事の発注内容については、施設の設置土木工事が3億8850万円、ポンプ設備工事の機械類で3億2655万円、発電設備工事の電気関係で1億9530万円。合計で9億1035万円の事業費となります。

② 平成19年度に予定していた土木工事を平成20年度に移行しましたが、工事の工法等が大きく変更される事はありません。実質的な工事については8月の祇園祭礼以降に着工し、全てを同時並行的に進め、当初の予定どおり平成21年5月に完了する予定です。

③ 設置場所付近は水郷潮来を象徴する、いわば顔の部分であり、特に吐出口部については国土交通省にも要請を重ねてきており、水郷潮来のランドマークともなるような事業計画がなされた経緯があります。今後国と協議をしつつ、多くの方に関心を持つていただけるよう、市としても交流ソフットの構築を含め検討をまいります。

裕田市長

市の職員と20回以上にわたって話をしてまいりました。その中でこの排水溝付近のデザイン等につきましては、私の考え等も話をし

多くの方からのご意見を聞きながら具体的なデザインを決めていきたいと思っています。世代を超えた観光スポットとしても考えていきたいと思っています。

問 水郷有料道路沿線の土地利用について

① 用途地域制は現在どうなっているか伺う。

② 潮来市第6次総合計画の中で位置づけは。

答 総合計画は現在策定作業中

今泉都市建設課長

① 徳島料金所から前川橋付近までの区間については、市街化調整区域であり用



有料道路沿線の土地利用は

途については指定していません。前川橋から国道51号までの区間は市街化区域です。住居系と一部工業系の用途に指定しております。料金所から前川橋周辺までの間は有料道路の両側75メートルについては、指定路線の区域になっており県知事が指定しております。

窪谷企画財政課長

② 総合計画については現在策定作業中であり、今後土地利用や産業の振興を始めとする政策協議が本格化する中で、総合計画策定の市民参画組織である「まちづくり委員会」からの提言を踏まえつつ、位置づけを検討していきます。

問 男女共同参画社会について

① 計画に対しての推進状況と今後の取り組みを伺う。
② 各種審議会等の女性委員の割合について伺う。

答 女性委員の登用目標 30%

矢幡行財政改革推進室長

① 国及び県の基本計画を受けまして、平成18年度に基本計画を策定したところであり、計画全体を見ますと、平成18年度は未実施項目が125項目で34.1%、事業に着手し継続中の項目236項目で64.3%、達成した項目6項目で1.6%という状況です。進捗率は46.8%と低い状況であります。今後は十分研修する必要があります。男女共同参画社会の実現に向け、行政の横の連携を密にし各種団体、また事業者等のご協力をいただきながら進めていきます。

② 審議会等における女性委員の登用状況は、審議会等の数は22で、その内女性委員のいる審議会は16です。総委員数268名で女性委員は49名、18.3%です。登用目標は平成32年度までに30%にするよう取り組んでおります。

一般通告質問



沼里 真一郎 議員

問
後期高齢者医療保険
制度について

この制度の問題点は限られた賃金の中で生活の苦しい低い所得の人に介護保険料と共に保険料を天引きする事です。また、高齢者を別立ての医療保険制度にして医療そのものも制限し医療を受けづらくさせる事です。しかも無年金者にも適用され、保険料を払えなければ保険証を取り上げ、分割の窓口負担で事実上医療を受けられなくなる制度です。国民皆保険制度をとっている国でこの様に高齢者を別立てにして負担増を求める制度をとっている国は他にはありません。高齢者を別立ての保険制度にし診療報酬そのものを引き下げ、入院すべき人も在宅者にして医療費の削減を図ろうとするものではないでしょうか。高齢者がどんどん増えているのに医療費を削減し、医者を減らし、病床を減らし、高齢者に負担増を求めています。本来入院すべき人が在宅者になれば救急医療にシワ寄せが行き、救急患者のたらい回しや病院の救急科の閉鎖にもつながります。この後期高齢者医療保険制度を運営する主体はどこですか。保険料はいくら位になりますか。一部凍結の場合、凍結解除の場合はどうですか。保険料は所得割と均等割があると思いますが、均等割は所得が無くても取られますがどうなりますか。また、前期高齢者の医療費負担も一割から二割への倍額負担になるのではないですか。

答
運営主体は県広域連
合。窓口は市

久保木市民福祉部長
75歳以上の全ての方が後期高齢者医療保険制度に入ります。所得割の保険料率は7.6%、均等割は県内で3万7462円で所得割と均等割の両方が保険料となります。一人当たりの最高限度額は50万円です。軽減措置は2割、5割、7割の三段階があります。様々な軽減措置がとられています。

問
交付税削減、当市への影響は

当市における地方交付税の削減は合併後十年間は無いはずだったのではないのでしょうか。それなのに結果的にどんどん減らされてきています。不況と、交付税減が当市の財政を苦しいものになっています。これは先般の広報いたこの財政状況報告でも紹介されたとおりです。本年度予算及び将来の方向で交付税減はどうなっているのでしょうか。

答
算定基礎の改定で減額。今後4億5千万
程度減額

窪谷企画財政課長
市町村が合併した場合の財政支援制度の一つに合併算定替という特例があります。行政の規模が大きくなれば共通経費が割安になり交付税が少なくて済みま

す。これをいきなり少なくするのではなく、十年間は旧自治体のままとみなし、その後5年間で段階的に減らす緩和措置の制度です。交付税の金額の保証ではなく算定方法の保証です。その算定基礎が改定されれば、交付される金額も変化します。特に平成16年度から18年度に行なわれた三位一体改革で3兆円の税源移譲がありました。逆に5兆1千億円の交付税が削減されました。平成20年の予算編成でも8月に前年度比4.2%減と公表されましたが

地方再生対策費の創設や地方交付税特別会計繰入金の償還繰り延べ措置で、前年度比1.5%増の4700万円程度が確保される見込みです。しかしこれらは暫定措置で将来に向けては税源移譲を含めた税源配分の見直しとともに、さらに縮減が進むのではないかと予想されます。さらに合併算定替がなくなり、当市で約4億5千万円程度の交付税の減額が見込まれます。今後は歳入の確保と共に行財政改革、特に歳出削減を更に進めていかなければならないと考えています。

平成20年4月
スタート

75歳以上のおみなさんへ

**新しい医療制度が
はじまります**

ポイント1
制度の運営は
各都道府県の広域連合
が行います。

ポイント2
75歳以上の方
（一定程度の障害がある方
は65歳以上
が対象です）

ポイント3
保険料は
広域連合ごとに決まり、
原則として年金から
徴収します。

ポイント4
医療費の自己負担は
一般は1割、
現役並み所得の方は
3割です。

平成20年4月より老人保健制度が後期高齢者医療制度に変わります。

茨城県後期高齢者医療広域連合

一 般 通 告 質 問



吉川 俊 議員

問 企業に負担を求めている

昨年12月14日、潮来市は知事と県議会議員に水郷有料道路の無料化を要望。知事から「建設費79億円のうち、未償還金が25億円残っている。潮来市で6億円の負担が出来ないか」との話があった。潮来市の対応は・・・。

答 今後の課題に

窪谷企画財政課長

市の現在の財政状況では負担できないので、その後の対応はとつていません。今後もし知事や県議会へ要望をしていきます。企業へ負担金を求める事は今後の課題とさせていただきたいと思っています。

問 県民の森の利・活用は

水郷県民の森の利・活用

について市長の現在の考えは・・・。

答 若者の期待するコンサート

杉田市長

私の選挙公約の一つ。若者の期待するライブコンサートを考えており、職員に意見を求めている。相手がビッグなアーティストであれば開催は2年ぐらい先になると思います。

問 生活道路の整備要望は

住民の生活道路への不満は多いが、整備要望の実態と対応は・・・。

答 5年間で106件

吉川建設部長

生活道路は地域のライフラインで、防災、交通の安全など生活の要となるもの。現在要望は5年ぐらいためてあり、幹線道路も含めて106件。5年以上経過したものは理由等を述べて返している。1件の要望を整備するにも複数年かかっているのが現状。生活道路条例等の制定は検討したい。

問 販売促進の課題は

潮来産コシヒカリ。買ってもらえる米作り事業の課題は・・・。

答 知名度アップ

香取農政課長

当面は、品質の向上と統一化、販路の開拓、潮来産コシヒカリの知名度アップが課題。都内の米穀店、消費者との交流会を通し顔の見える関係になり、潮来産米取扱いの米穀店が増えつつあります。

問 「大塚野トンネル」の実現は

「大塚野トンネル」実現に向けて、潮来市の取り組みと今後の対応は・・・。

答 財政の好転などが条件

吉川建設部長

大塚野隧道整備事業は、やりたいができない。用地取得と厳しい市財政の問題から、平成15年9月、当時の市長等関係者で協議し、事業は待避所の設置をもつて中断した。今後、市財政が好転し地権者の同意など条件がそろわなければ再開は困難であります。

問 補助金の整理・合理化は

補助金の整理・合理化をはかるため、常総市では補助金等検討委員会設置条例を制定し、市民に根拠を明

示し理解と協力を得ようとしているが・・・。

答 他市を調査したい

矢幡行財政改革推進室長

補助金交付適正化のため行政改革懇談会の提言等を受け基本方針を示している。常総市の事例については、今後調査したいと思っています。

問 公共施設の相互利用は

近隣市との広域交流による文化・スポーツ・環境施設等も含めた相互利用の進捗状況は・・・。

答 調整会議に期待

窪谷企画財政課長

今年の4月以降に鹿行広域事務組合では、公共施設相互利用のための調整会議を行うと聞いております。

答 鹿嶋市長とは了解済み

杉田市長

鹿嶋市長と私とは了解がとれています。鹿嶋市では300人規模の公民館がなく、潮来の公民館規模のものが欲しいと話しております。

問 投票所の見直しは

市議会議員一般選挙が平成20年1月に執行された。

投票所は7箇所になったが、お年寄りが身近で気軽に投票できるように見直しは・・・。

答 現状で経過を見たい

根本総務課長

投票所の統廃合は経費削減等の観点から、当時の区長会、議員全員協議会で説明しています。現在の投票所数で経過を見ていきたい。

問 商店街支援事業への対応は

「がんばる商店街支援事業」は、平成19年度の県新規事業。潮来市の対応は・・・。

答 魅力的な提案を

鈴木環境経済部長

潮来市商工会が「テクテクラジオ」を応募したが採用にはならなかった。平成20年度は魅力的な付加価値をつけての応募をお願いしました。



大塚野隧道整備の現状は

一 般 通 告 質 問



今泉 利拓 議員

問
広報いたこ発行責任者 松田市長に問う

平成19年12月13日、区長さん宅に広報いたこ1月号が届けられ各家庭に配られた。折りしも12月14日午後には、1月20日告示の市会議員立候補予定者に対し事前説明会が行われ、市会議員選挙に向けて市民の関心が一段と高まってきた時だった。このタイミングにあわせるように広報いたこが配られた。この広報いたこ1月号に、某団体から市の社会福祉協議会へ50万円の寄付がされた写真入りで紹介されていた。社会福祉協議会への寄付は大変有難い貴重なものだが、市会議員選挙が間近に迫ってき

たこの時期、広報いたこの紹介記事の内容、配付時期が公職選挙法に照らして問題なしと見逃して良いものかどうか疑問に思った。市長はなにか問題ありと思うところはなかったか伺う。

答
通常の寄付の例により掲載

矢幡行財政改革推進室長
寄付を受けたのが11月22日。寄付を頂いた直後の広報紙発行ということで、12月13日発行の広報紙となりました。通常の例により掲載しました。

再質問

広報いたこを見た市民2人の方から、広報いたこの記事に、市議会議員選挙の立候補予定者の名前が出ている。写真が出ている。公文書の広報いたこを巧みに利用した売名行為ではないか。今回の寄付は個人での寄付ではないが、議員の立場にある立候補予定者が深くかわりあいを持った寄付行為ではないか、との指摘があった。広報いたこで時期を選んで寄付行為を知

らせるのは結構だが、市会議員選挙間近という微妙な時には細心の注意を払われたほうが良いのではないかと思う。

寄付行為をしたのは砂利採取業者の団体。茨城県が潮来市内での砂利採取に許可を出すに当たり、市長に意見書の提出を求めてくる。意見書について断固「公平中立」の立場を貫きますという決意が市長にありやなしや。答弁を。

答
意見書は公平、中立に

松田市長

私の公平中立な立場は揺るぎないものです。

問
企業誘致について

市議会議員選挙にあたり、「潮来市が自由に使える金、自主財源の確保。具体策として企業誘致の推進に全力で取り組みます。」と力説してきた私は、企業誘致に積極的に取り組もうとしている市長、副市長に對し大きな期待を抱いている。企業誘致促進法に基づく鹿島臨海地域産業活性化基本計画の重点促進地域に潮来

市が指定された時のメリットはどのようなものか。

答
税の特例、緑地率の規制緩和

窪谷企画財政課長

メリットについてはまず税の特例があります。工場を新増設したり、新たに機械を取得する場合に適用されます。事業の用に供した最初の事業年度のみ、工場の場合は8%、機械の場合には15%を限度として、普通償却限度額に加算できるものです。ただし適用要件があり、工場の場合には取得価格の合計が5億円以上、機械装置の場合には、1台の取得価格が1千万円以上かつ総投資額が3億円以上の場合です。

次に緑地率の緩和があります。工場立地法では工場の敷地面積に対して、一定割合以上の緑地等の環境施設面積を義務付けています。環境施設面積とは、駐車場、広場などの施設と緑地を合わせた面積のことで、工場の敷地面積に対して25%以上。そして緑地面積率は20%以上を確保する

ことが規定されていますが、この範囲内で市が条例化することで、工場立地法の環境施設面積率及び緑地面積率の緩和を図ることが出来るという内容です。

その他の主な質問

◎水質浄化について

◎行政協力者に対する市当局の対応について

◎前川を対象とした国の整備事業と市長の言われる国家的プロジェクト事業との関係について

◎全世界的なテーマ「地球温暖化」について市長所信にないのは何故か

◎「潮来の緑を守る条例」制定の進捗状況について



企業誘致は緊急の課題

議会議員活動日誌（平成20年1月～3月）

期 日	内 容	議 員	期 日	内 容	議 員
1月 8日	水田農業推進協議会	議長 環境経済委員長	3月 2日	ヘルスウォーキング大会	全 議 員
10日	明日のいばらきづくり新春の集い	議長	2日	歴史文化講演会	全 議 員
12日	ニューイヤーマラソン大会 (道の駅いたこ)	議長	3日	羽成ファッションスクール卒業式	議長
13日	新成人の集い	全 議 員	3日	議会運営委員会	議会運営委員
13日	延方・大生原区長会	議長	6日	第1回定例会初日	全 議 員
14日	消防出初式	全 議 員	7日	定例会本会議	全 議 員
22日 ～23日	県市議会議長会定例会	議長	8日	潮来市文化協会芸能音楽祭	議長・関係議員
26日	シルバー人材センター「新春芸能祭」	議長	9日	潮来市社会福祉大会	全 議 員
2月 2日	潮来市文化講演会	全 議 員	10日	買ってもらえる米作り研修会	議長・関係議員
12日	臨時議会	全 議 員	11日	市立中学校卒業式	全 議 員
12日	広報編集委員会	広 報 委 員	12日	定例会本会議	全 議 員
13日	水郷美術展覧会開会式	議長	13日	定例会本会議	全 議 員
18日	環境経済建設委員会協議会	環境経済建設委員	14日	定例会本会議	全 議 員
18日 ～19日	県北鹿行市議会議長会研修	議長	15日	潮来7丁目会館竣工式	議長
20日	悠々塾閉講式	議長	15日	多文化共生を考えるシンポジウム	全 議 員
20日	稲荷山再生事業発表会	議長	16日	稲荷山再生事業	議長
20日	総務委員会協議会	総 務 委 員	17日	日の出8丁目集会所竣工式	議長
20日	国保運営協議会	議長	18日	教育福祉委員会	教育福祉委員
21日	議会運営委員会	議会運営委員	19日	市立幼稚園卒園式	関係議員
21日	予算内示会	全 議 員	19日	開発公社評議員会	議長・関係議員
26日	鹿行広域組合議会定例会	組 合 議 員	20日	道の駅苅まつり	議長・関係議員
28日	全員協議会	全 議 員	21日	市立小学校卒業式	全 議 員
29日	潮来第二中特別教室竣工式	全 議 員	21日	定例会最終日	全 議 員
29日	都市計画審議会	議長 常任委員長	21日	広報編集委員会	広 報 委 員
29日	民謡保存会結成式	副 議 長	24日	潮来市振興計画審議会	正 副 議 長 常 任 委 員 長
			25日	選挙管理委員・補充員告知式	議長
			25日	水田農業推進協議会総会	議長
			29日	シルバー人材センター総会	議長

請願・陳情について

市政等について意見や要望がある場合、請願や陳情を議会に提出して市政に反映させることができます。請願や陳情は、どなたでも（個人、団体）提出することができます。

【請願】請願を提出する場合は、請願の内容に賛意を表す議員（紹介議員）の署名が必要です。提出された請願は、議会で審議し、採択か不採択かを決めます。

【陳情】陳情には紹介議員は必要ありませんが、**陳情の場合は原則として議員配付のみとなり議会での審議は行いません。**提出された陳情は、原文のまま印刷し、議員全員へ配布します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください TEL 63-1111（内線 301）

傍聴へお越しください

議会傍聴は議員活動や市政を知る最も身近な機会です。

受付をすれば傍聴できますのでお気軽にお越しください。

次回定例会は

6月5日【木】開会予定です。

議会会議録をインターネットで閲覧

潮来市のホームページから市議会のページへアクセスし、「会議録検索」をクリックしてください。平成13年度からの定例会・臨時会の会議録が閲覧できます。



潮来市議会

<http://www.city.itako.ibaraki.jp/gikai/index.htm>

俳句・短歌紹介

昨年12月にまちかどギャラリーで開催された「活躍する作家展」から

○孫ら行き水鉄砲もそのままだに裏の洗い場夏過ぎんとす

高木寛（小野小町文芸賞）

○朝採りの茄子とトマトをつかいたる帰省の嫁のバスタ

おいしい

太田香江子（読売新聞いばらぎ文芸特選）

○一代かけて土地改良をなせし田は子らの重みとなりしか今は

窪谷とく（読売新聞いばらぎ文芸入選）

○空襲を逃れし森の苔の匂いみんみん蝉の啼けば思ほゆ

磯山里子（水郷短歌大会講師賞）

○桜湯の花びらゆれて白いたつ嫁ぐ娘を祝う朝餉に

柳町芳（あやめ祭協賛短歌大会講師賞）

○京暮らし馴染みたるらし幼らはやさしき訛りを受話器に伝う

北崎よし（鹿嶋短歌大会観光協会賞）

○朝風ぎてゆく雲の影映りたる代田を連れゆく犬が現けり

宮内正紀（あやめ祭協賛短歌大会会長賞）

○昨日まで土の見えし田今朝はもう鏡となりて苗を待らおり

長岡八重（あやめ祭協賛短歌大会会長賞）

○ひろびろと蘆枯れてぬし三角州

鈴木汀夫（長塚節文学賞佳作）

○蟬の木が鬼の木となりかくれんぼ

室谷光子（第三六回土浦市文化祭俳句大会議会議長賞）

○空遠く飢餓の国ありメロン切る

西山たか子（茨城現代俳句入選）

○納屋のすみ冬至南瓜に埃あり

平瀬力ウ（NHK全国俳句大会入選）

○麻痺の子の声立て笑ふ泳ぎかな

額賀あい子（NHK全国俳句大会入選）

編集後記

去る1月27日に市制施行後2回目の市議会議員選挙が挙行され定数18名となり、総務委員会・環境経済建設委員会・教育福祉委員会それぞれ6名ずつの構成になりました。

3月議会では平成20年度予算合計194億7427万円を可決しました。しかし、一般会計に取り崩せる基金残額は1億1千万程度、市民一人当たりの借金は約83万円という大変厳しい財政状況である。また今国会で問題となっている道路特定財源の暫定税率のゆくえによつては、本市では1億8千万円規模の減収が生じることとなります。厳しい財政状況になりますが、議会と執行部が互いに切磋琢磨し難局を乗り越えなければなりません。

広報委員も新たに選出され市民の皆様にも少しでも「わかりやすく、親しみやすい」広報紙づくりを目指し努力して参りますので今後ともよろしく願います。（根本又男）

議会広報編集委員会

委員長 根本 又男
副委員長 柚木 巖
委員 原 浩道
田崎 清
沼里真一郎
吉川 俊